



# 馬頭高校 ～「那珂川学」を通じた地域連携型探究～

《特色》 馬頭高校では、役場や町内の企業等、地域の多くの方々との交流を深めながら、様々な体験活動や探究学習である「那珂川学」を実施しています。この学習を通して、学校だけでは身に付かない異世代とのコミュニケーション能力や実践力を身に付け、卒業後も地域に参画する人材の育成を目指しています。

## 年間予定

**1年** 4月 「那珂川学」オリエンテーション  
5～10月 「那珂川学」体験学習  
講座 調査のしかた  
講座 取材のしかた  
11月～2月 ちょこっとプロジェクト

**2年** 4月 課題設定(8つの分野から選択)  
5月 情報収集  
文献調査・町内各地での聞き取り調査  
インターネット(RESAS等を活用)  
6月 情報整理分析  
7～11月 マイプロジェクト  
※マイプロジェクト:実践型探究学習プログラム  
12月 「那珂川学」校内発表会  
兼 マイプロジェクト予選会

**1・2年** 2月 ながわ学発表会



**point1** 那珂川町全体で「那珂川学」の活動をバックアップ。

《地域と連携した活動例》

- ・町長による町の魅力と課題についての講演
- ・馬頭商店街散策(課題体感)
- ・町内整備体験(保存会の方と整備の手伝い)



**point2** 1年次に、課題研究を進める上で大切な、調査や情報収集の手法を学び、今後の活動につなげる。

《生徒の感想》

班別で研究を始める前に、調査と取材の方法等を学年共通の講座を通して理解し、課題研究に不安なく入ることができた。



**point3** 探究の4つのプロセスを短期間で回し、探究活動そのもののイメージをつかみ、個人的な関心を社会的関心へと広げる。  
→最終的には地域への関心につなげる。

《主な探究テーマ》

- ・自分の「好き」を極める(興味・関心の深化)
- ・周囲の人たちを1週間で笑顔にしてみようプロジェクト(実践力)

《生徒の感想》

普段意識していなかった周囲に関心を持ち行動することで、自分の物事への見方が変わったことを感じた。

**point4** 那珂川町主催の発表会で、代表者が町民等に向けて発表する。この体験は生徒の大きな自信となっている。

町民の皆さんから多くの声をいただき、「那珂川学」の改善につなげている。



## これまでの主な取組

### ●職員間で情報共有

NPO団体等に依頼して外部講師を招きワークショップを実施することで、職員間で指導内容を共有化する。

※生徒の主体的な取組を実現させるために教師がどの程度関わるかについて、その考え方とスキルを身に付けることが目的。



### ●評価方法を工夫

ルーブリックを用いて生徒による自己評価を行う。

### ●マイプロジェクトアワードへ参加

全国規模の発表大会に参加することで、自己表現力の向上や探究活動に対する意識の向上を図る。

### ●ゼミ形式の探究を円滑に進めるためにミーティングを定期的実施

## これから目指す取組

- 3年次における進路と連携した個人課題研究の実施
- 課題研究を通じた他校や地域との連携を強化
- 他校とオンライン共同発表会を実施
- 地域団体とコンソーシアム(共同事業体)を設立  
探究学習を継続していける環境作りを目指す。

《担当者の声》 総学・総探(那珂川学)係・地域連携教員 小高 圭美

「那珂川学」をベースに、地域と連携して課題研究を行うことにより、生徒が主体的に自身の行動をどうすべきかを考えるようになり、普段の学習に向かう態度や生活態度の向上等、生徒に大きな変化が見られています。また、地域の方々の本校生徒への理解が深まり、期待が強まることで、進路にも直結した取組となっています。今後は、自主的な課題設定と実践により重きを置き、卒業後も生徒が地域に参画できる枠組みを形成したいです。